

調達管理番号・案件名

24a01016_ポーランド国ウクライナIT人材育成及び在ポーランド避難民支援に係る情報収集・確認調査(ファスト・トラック制度適用案件)(QCBS-ランプサム型)

質問と回答は以下のとおりです。

2025/2/26

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	11	第4条 調査の内容 (1)基礎情報の収集・分析 ②ウクライナにおける状況確認	他ドナーのIT分野支援の状況把握のために、とありますが、高等教育でのIT分野支援の状況を把握するためという理解でよろしいでしょうか。	はい、ご理解のとおりです。
2	12	第4条 調査の内容 ①☑ビジネススキル研修の実施	研修の実施回数が約4回となっていますが、夏休み中の実施を考えると1回あたり100名の参加者を見込み、2回の実施が現実的かと考えますが、必ず4回実施しなければなりませんか。	2回の開催でも問題ございません。カウンターパートとの協議において実施時期や回数を確認ください。
3	14	第6条 報告書等 (1)業務計画書	作成言語:和文・英文とありますが、業務計画書は和文と英文が必要でしょうか。	はい、ご理解のとおりです。
4	14	第6条 報告書等 インセプションレポート	作成言語:和文・英文とありますが、インセプションレポートは和文と英文が必要でしょうか。	はい、ご理解のとおりです。
5	16	プロポーザルにて特に具体的な提案を求める事項のうちNo.2	・特記仕様書案での該当条項には、第3条 調査実施の留意事項の(2)ウクライナ国内大学教員向けの短期研修の実施とありますが、該当箇所が見つかりません。該当箇所をご確認いただけますでしょうか。 ・提案を求める項目が、「・・・短期研修の実施に向けた各大学からの情報収集方法」とありますが、短期研修だけの情報収集方法について提案を求める理由をご教示いただけますか。	・失礼いたしました。第4条調査の内容の(2)パイロット研修の計画・実施・結果の分析、④短期研修(短期フェローシップ)の実施が該当箇所です。 ・こちらは学位取得を目的とする長期研修ではなく、短期研修を想定しております。第4条調査の内容(2)パイロット研修の計画・実施・結果の分析のうち①～③に関しては、前回の基礎調査での対応を基に検討可能という認識です。他方で、④短期研修(短期フェローシップ)に関しては、前回基礎調査結果を踏まえつつ、さらにウクライナのIT系大学の教員の研究能力の向上につながるような内容の短期研修をご提案いただきたいという趣旨です。

以上